

## 平成27年度県立球陽高等学校学校評価（まとめ）

### 1 学校の教育目標

- (1)校訓「進取・好学・敬愛」の具現化を図り、創造性・国際性に富んだ人材の育成をめざす。（自ら学び・深く考え・ともに高め合う球陽生）  
 (2)生徒一人ひとりの個性の伸長を図るとともに、確かな学力及び規範意識を高めさせ、高い次元での大学進学等進路実現をめざす。（第一志望進路実現）  
 (3)理数科・国際英語科の特色を生かした魅力ある進学校をめざす。（入学したい憧れの学校）  
 (4)教育に携わる使命と職責を自覚し、明確な目標を持ち、活気ある教育活動を展開する教職員の育成をめざす。（教職員のモラル：やる気の高揚）

### 2 今年度の重点目標

- (1)50分授業の完全実施と授業内容のレベルアップ、(2)進路指導の充実(難関大増、国公立大170名、県外国公立大70名、進路決定率75%)、(3)語学教育の充実、SSH諸事業の推進、(4)教師相互の授業参観、大学入試制度改革の研究、(5)中高一貫教育校開設に向けた取組、(6)報告・連絡・相談による危機管理体制の徹底

### 3 評価

A：達成できた(80%以上) B：ほぼ達成した(80～50%程度) C：あまり達成できなかった(50～30%程度) D：達成できなかった(30%以下)

	具体的目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	学校関係者からの要望等
教育目標	創造性・国際性に富んだ人材の育成	生徒の個性伸長、校訓「進取・好学・敬愛」の具現化	A	A	A	・進学校としての教科指導の熱意ある取組とあわせて学生個々に応じた育成にも様々な方策で行っている点が評価できる。高校1年の早い段階で、生徒の自主的な学習態度を育成し、進路(進学先)等の意識づけを高めてほしい。 ・特別活動に関しては、学級経営の充実が図られており、生徒への積極的な支援が行われている点が評価できる。教科指導・進路指導との両立を図りながら、行事を精選すると良い。 ・日頃の指導、進路検討会等、生徒ひとり一人に対する職員の働きは素晴らしく、今後とも生徒の学力向上、進路実現のため、管理者を含め全職員で尽力してほしい。 ・創立から27年が経ち、生徒の安全確保及び施設の安全管理の面から、校舎の老朽化に対しては改修の必要性がある。 ・今後の教育を担っていく教師は、これまでの指導と違ったスキルの習得や、アクティブラーニング型の授業を取り入れる等、これまで以上に指導力向上が必要となる。教師の力量をさらに高めてもらいたい。 ・家庭、地域社会との連携強化のため、HP等を活用した情報発信を図り、PTA活動を活性化する等、保護者と教師の連携を密にしてほしい。 ・次年度から球陽中学校が開校されるが、球陽高校等の連携を密にして、6年間を見通した人材育成を図ってほしい。
	自主・自律的な態度の育成	自ら学ぶ態度と自己実現の能力の育成	B			
	理数科・国際英語科の特色ある取組	SSH事業、海外研修プロジェクトの推進	A			
教育計画	教育目標を達成するための計画の立案	教育課程の整備、年間行事計画の策定・実施	A	A	A	
教科指導	自ら学ぶ意欲と自主的・自律的な学習態度の育成	「分かる授業」、「参加する授業」の推進、アクティブラーニングの研究	B	B	B	
	基礎学力の定着と個性の伸長	日々課題・週末課題等、自学自習、家庭学習の習慣化	A			
	教師の授業力向上	教職員評価システムの活用と授業研究の推進	B			
特別活動	自主性・自律性の確立	学級経営の充実	B	B	A	
		生徒会活動・部活動等、生徒の自主的活動への積極的支援	B			
生徒指導	基本的生活習慣の確立	遅刻指導、身なり指導の徹底と挨拶の奨励	A	A	A	
	交通安全教育の推進	交通安全講話の実施、登下校の安全指導	A			
	問題行動の未然防止	全体集会、学年朝会における指導	A			
進路指導	目的意識の高揚、進路の早期決定	進路講話、三者面談、進路統一HR等の実施	A	A	A	
	自己実現のための学力の伸長	各種講座、放課後学習会、小論文指導の実施	A			
	適切な進路情報の提供	家庭学習の充実、自学自習の習慣化を図る	B			
健康・安全指導	自他の生命を尊重し、安全で安心な学校づくり	進路だより、進路のしおりによる情報提供	A	A	A	
		いじめ防止、人権尊重の態度の育成	A			
		教育相談事業の充実	A			
環境美化	学習環境の整備	生徒の安全確保及び施設の安全管理	B	B	B	
		清掃指導と校内施設の整備	B			
研究研修	教職員の資質・能力の向上	学習環境の整備、学校の緑化	B	A	A	
		外部講師を招聘した職員研修の実施	A			
家庭・地域社会との連携	開かれた学校づくり	授業研究の継続と授業改善の推進	B	B	B	
		PTA活動の活性化・保護者との連携強化	B			
		ホームページ等を通じた学校の情報公開	A			